



出典:東北地方整備局



出典:東北地方整備局



出典:東北地方整備局

徳島県内で想定されている 大規模災害について



出典:久慈市



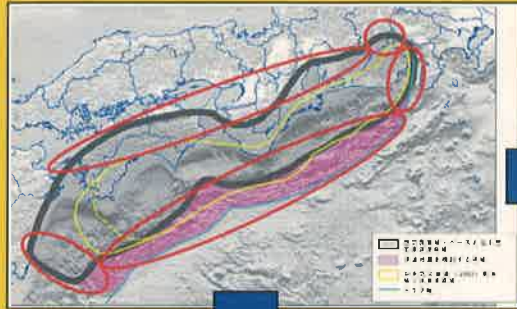
出典:気仙沼市

徳島県 南海トラフ巨大地震 想定結果（第一次）

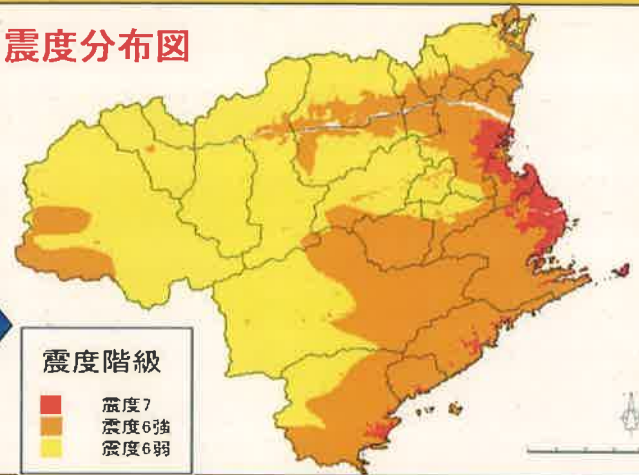
H25.7.31公表

想定地震

南海トラフの巨大地震(M=9.0)



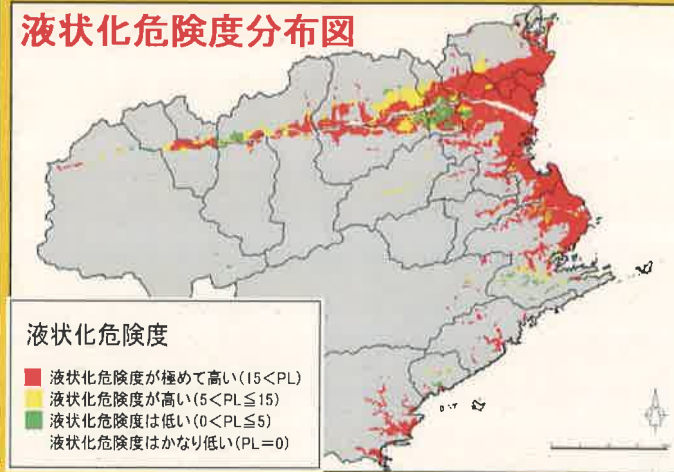
震度分布図



震度階級

- 震度7
- 震度6強
- 震度6弱

液状化危険度分布図

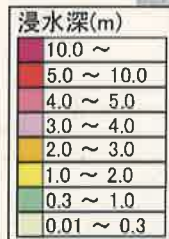


液状化危険度

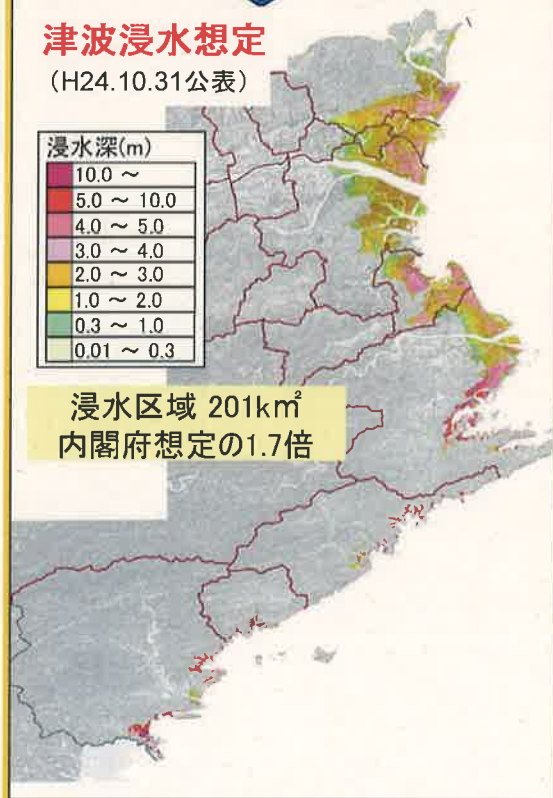
- 液状化危険度が極めて高い(15<PL)
- 液状化危険度が高い(5<PL≤15)
- 液状化危険度は低い(0<PL≤5)
- 液状化危険度はかなり低い(PL=0)

津波浸水想定

(H24.10.31公表)



浸水区域 201km²
内閣府想定との1.7倍



想定項目

- 建物被害
 - ・ 全壊棟数
 - ・ 半壊棟数 (大規模半壊含む)
- 人的被害
 - ・ 死者数
 - ・ 負傷者数
 - ・ 重傷者数

想定ケース

- 冬深夜 → 人的被害 最大
- 夏12時
- 冬18時 → 建物被害 最大

想定手法

- 内閣府の想定手法
- +
- 本県の詳細データ

建物全壊棟数・死者数（最大ケース）

| | 内閣府 | 内閣府 | |
|-----------------------|-------------------|--------------------|-------------------|
| 全壊棟数: 116,400棟 | (133,600棟) | 死者数 31,300人 | |
| 【内訳】 | | (33,300人) | |
| ・揺れ | 60,900棟 (90,000棟) | ・揺れ | 3,900人 (5,200人) |
| ・液状化 | 540棟 (4,400棟) | ・急傾斜地 | 30人 (40人) |
| ・急傾斜地 | 360棟 (500棟) | ・津波 | 26,900人 (27,300人) |
| ・津波 | 42,300棟 (15,600棟) | ・火災 | 470人 (500人) |
| ・火災 | 12,300棟 (22,000棟) | | |

※内閣府: 南海トラフ巨大地震対策検討WG(第一次報告)<H24.8.29>

徳島県 南海トラフ巨大地震 想定結果(第二次) H25.11.25公表

主な想定結果 (定量被害)

○ライフライン被害

・上水道(断水率)

| | | | |
|-----|-----|------|------|
| 直後 | 1日後 | 1週間後 | 1ヶ月後 |
| 92% | 73% | 56% | 22% |

・下水道(支障率)

| | | | |
|-----|-----|------|------|
| 直後 | 1日後 | 1週間後 | 1ヶ月後 |
| 79% | 79% | 26% | 1% |

・電力(停電率)

| | | | |
|-----|-----|-----|------|
| 直後 | 1日後 | 4日後 | 1週間後 |
| 98% | 72% | 47% | 38% |

・通信<固定電話>(不通率)

| | | | |
|-----|-----|------|------|
| 直後 | 1日後 | 1週間後 | 1ヶ月後 |
| 98% | 75% | 34% | 14% |

・ガス<都市ガス>(停止率)

| | | | |
|------|------|------|------|
| 直後 | 1日後 | 1週間後 | 1ヶ月後 |
| 100% | 100% | 63% | 0% |

○交通施設被害

- ・道路:被害箇所数 1,600箇所
- ・鉄道:被害箇所数 550箇所
- ・港湾:被害バース数 220箇所
- 防波堤被災延長 6,000m

○生活支援者等(最大)

- ・避難者:362,600人
- ・入院需要: 9,300人
- ・廃棄物:1,600~2,200万トン
- ・仮設住宅:70,200戸
- ・孤立集落:140集落

○経済被害

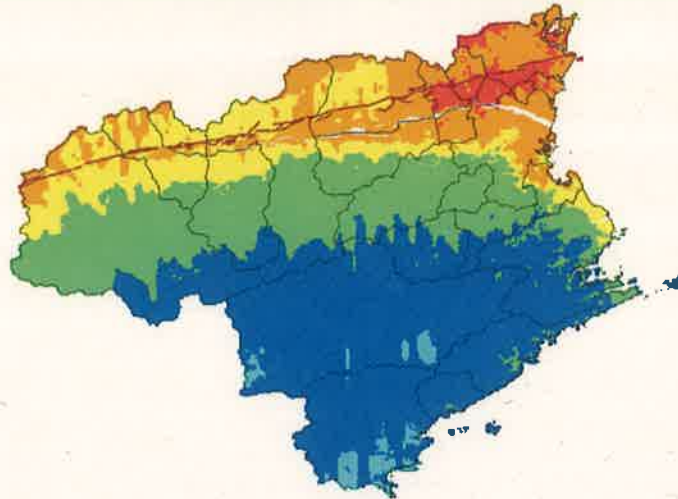
- ・直接経済被害:6兆4,000億円

徳島県中央構造線・活断層地震被害想定概要

震度分布

震度階級

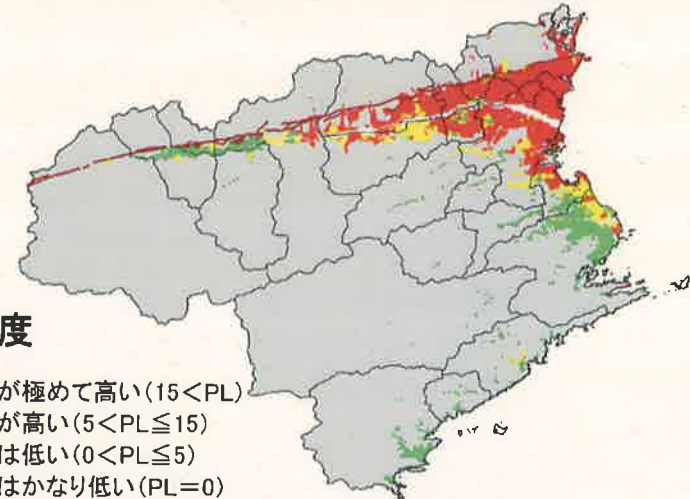
- 震度7
- 震度6強
- 震度6弱
- 震度5強
- 震度5弱
- 震度4



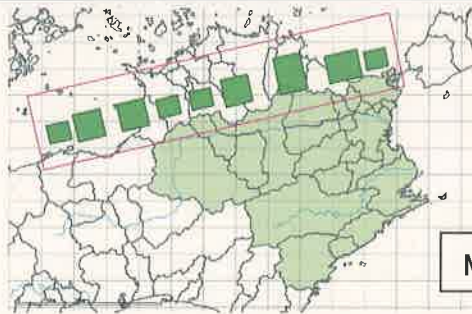
液状化危険度分布

液状化危険度

- 液状化危険度が極めて高い(15<PL)
- 液状化危険度が高い(5<PL≤15)
- 液状化危険度は低い(0<PL≤5)
- 液状化危険度はかなり低い(PL=0)



震度・液状化危険度の計算条件



- 地震発生層の上端深さと下端深さをJ-SHISの予測より、それぞれ2km拡げ、地震発生層の幅32km、アスペリティの上端深さ6.6kmとした。
- 破壊開始点を5点とし、5ケースの震度分布を重ね、最大の震度を採用

想定項目

- 建物被害
 - ・全壊棟数
 - ・半壊棟数
- 人的被害
 - ・死者数
 - ・負傷者数
 - ・重傷者数
- ライフライン被害
 - ・上水道
 - ・下水道
 - ・電力
 - ・通信
 - ・ガス
- 交通施設被害
 - ・道路
 - ・鉄道
 - ・港湾
- 生活支障等
 - ・避難者
 - ・入院需要
 - ・廃棄物
 - ・仮設住宅
 - ・孤立集落
- 経済被害

想定ケース

- 冬深夜 ⇒ 人的被害最大
- 夏12時
- 冬18時 ⇒ 建物被害最大

被害想定推計手法等

- 内閣府の推計手法
- +
- 本県の詳細データ

建物被害・人的被害・生活支障等

○強震動地域は、吉野川北岸の人口密集地に集中しており、「揺れ」や「火災」の被害が甚大である。

全壊棟数：63,700棟

<内訳>

- ・揺れ 44,400棟
- ・液状化 430棟
- ・急傾斜地 180棟
- ・火災 18,700棟

死者数：3,440人

<内訳>

- ・揺れ 2,860人
- ・急傾斜地 20人
- ・火災 560人

生活支障等（最大）

- ・避難者 254,100人
- ・入院需要 5,200人
- ・廃棄物 1,200万トン
- ・仮設住宅 35,300戸
- ・孤立集落 77集落

ライフライン被害

○被災エリアは局所的であるが、地盤の「ずれ」や「揺れ」による甚大な被害が想定される。

- ・上水道：断水率

| | | | |
|-----|-----|------|------|
| 直後 | 1日後 | 1週間後 | 1か月後 |
| 75% | 54% | 37% | 7% |
- ・下水道：支障率

| | | | |
|-----|-----|------|------|
| 直後 | 1日後 | 1週間後 | 1か月後 |
| 56% | 56% | 9% | 0% |
- ・電力：停電率

| | | | |
|-----|-----|-----|------|
| 直後 | 1日後 | 4日後 | 1週間後 |
| 87% | 58% | 19% | 7% |
- ・通信：固定電話不通率

| | | | |
|-----|-----|------|------|
| 直後 | 1日後 | 1週間後 | 1か月後 |
| 86% | 57% | 13% | 0% |
- ・ガス：都市ガス停止率

| | | | |
|------|------|------|------|
| 直後 | 1日後 | 1週間後 | 1か月後 |
| 100% | 100% | 85% | 0% |

交通施設被害

○被災エリアが局所的であるとともに津波漂流物の啓開作業が不要であるが、地盤の「ずれ」や「揺れ」による甚大な被害が想定される。

- ・道路：被害箇所 1,100箇所
- ・鉄道：被害箇所 420箇所
- ・港湾：被害バース 60箇所

経済被害

- ・直接経済被害：4兆2,600億円

※各項目の数字については、十の位または百の位で処理しており、合計が合わない場合がある。